



## 2022年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年9月13日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 浜 直樹

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 2021年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第2四半期の連結業績(2021年2月1日～2021年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	1,726	71.4	323		549		456	
2021年1月期第2四半期	1,007	63.3	226		369		368	

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 463百万円 ( %) 2021年1月期第2四半期 377百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	52.75	
2021年1月期第2四半期	42.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	3,725	2,987	79.6
2021年1月期	7,465	2,599	34.7

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 2,964百万円 2021年1月期 2,586百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		0.00		10.00	10.00
2022年1月期		0.00			
2022年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,341	26.1	351		580		477		55.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期2Q	11,096,000 株	2021年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2022年1月期2Q	2,444,907 株	2021年1月期	2,444,907 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期2Q	8,651,093 株	2021年1月期2Q	8,651,120 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され景気の回復や持ち直しが期待されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。世界経済におきましては、一部地域で景気の回復や持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある状況は続いています。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントのプレイステーション5が累計販売台数1,000万台を歴代最速で達成したことや、その他の一部のゲームソフトにおいても好調ぶりが伝えられています。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおいては、新進気鋭の米国プロレス団体である「All Elite Wrestling」（略称「AEW」）から開発受託した、同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発が引き続き順調に進行しております。また、アクションゲーム「ま〜るい地球が四角くなった!? デジボク地球防衛軍 EARTH DEFENSE FORCE: WORLD BROTHERS」のSTEAM版が昨年のプレイステーション4・ニンテンドースイッチ版に続き2021年5月27日に発売されました。また、当社がプログラム開発に参加いたしましたロールプレイングゲーム「テイルズ オブ」シリーズの最新作「Tales of ARISE」（プレイステーション5・Xbox Series X|S版）が2021年9月9日に発売されました。その他複数タイトルの受託ソフトの開発が順調に進行しております。

パチンコ・パチスロ分野においては、当社公式ブログから生まれ、漫画配信サイトで大人気を博した女子校生プロレス漫画「ロリクラ☆ほーど！」の画像開発が完了し、遊技機メーカー・ネット株式会社よりパチスロ化され、2021年9月6日にパチンコホールに導入されました。その他、複数タイトルの画像開発プロジェクトを受託しており開発が順調に進行しております。

自社コンテンツの「AR performers」においては、2021年10月に東京・愛知・大阪の映画館で、FILM LIVE「REMINI Tour 2021」「アニメARP Backstage Pass後夜祭“Celebrate Good Time”-EXTEND-」が開催される予定です。また、自社オリジナル技術であるAR Live System「ALiS ZERO」は、パーティカルシアターアプリ「smash.」にてスペシャルラジオ番組として配信されている「monaラジ」等の制作で利用されています。

パブリッシング事業分野においては、新ソフトの自社展開に向けて開発が進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,726百万円（前年同期比71.4%増）、為替相場の回復に伴い、主に米ドル建預金の円転による為替差益216百万円を計上したため、経常利益は549百万円（前年同期は経常損失369百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は456百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失368百万円）となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,740百万円減少し3,725百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少4,100百万円、売掛金の増加140百万円、仕掛品の減少55百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して4,127百万円減少し738百万円となりました。主な要因としては、短期借入金金の減少4,150百万円、前受金の減少52百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して387百万円増加し2,987百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益456百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては102百万円の資金を獲得（前年同期は390百万円の資金の使用）、投資活動においては184百万円の資金を使用（前年同期は7百万円の資金の使用）、財務活動においては4,236百万円の資金を使用（前年同期は1,684百万円の資金の使用）いたしました。

以上の結果、現金及び同等物は、前連結会計年度末より4,100百万円減少し2,107百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年1月期決算短信（2021年3月12日公表）において発表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年9月13日に公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しているものと認識しております。当該重要事象を解消するため、改善策として、以下の取り組みを進めております。

事業面においては、新規案件の開発、企業価値向上に向けた収益力強化を行っております。

新規案件としては、「AEW」から同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発受託をいたしました。「AEW」は、ここ数年におけるプロレス業界に革命的な衝撃を与えた設立3年目の新しいプロレス団体です。「AEW」は、世界最高峰の才能を誇るスター選手たちが参戦する興行で、新たなスピリッツと風そしてエネルギーを吹き込み、業界の構図に一石を投じています。当案件は、当社グループの得意分野となる格闘ゲームジャンルであり、またグローバル市場への効果が期待できるタイトルと考えております。それ以外の案件につきましても、海外向けの注力方針を継続し、売上規模の増加を図ってまいります。

資金面においては、当第2四半期連結会計期間末において十分な現金及び預金を保有しており、加えて、金融機関との当座貸越契約・コミットメントライン契約により、当面の事業資金を確保しているため、資金繰り上の懸念はないと判断しております。

これらの改善策を適切に実施していくことにより当該事象を解消できると考えており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,208,076	2,107,105
売掛金	261,368	402,051
商品	4,270	4,268
仕掛品	298,142	242,298
その他	54,585	46,253
貸倒引当金	△521	△513
流動資産合計	6,825,921	2,801,464
固定資産		
有形固定資産	32,586	29,854
無形固定資産	12,981	204,123
投資その他の資産	709,396	804,767
貸倒引当金	△115,500	△114,938
固定資産合計	639,465	923,807
資産合計	7,465,387	3,725,271
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	4,150,000	-
未払金	271,234	308,938
未払法人税等	12,039	93,529
前受金	119,401	66,517
賞与引当金	80,175	73,093
その他	45,342	66,174
流動負債合計	4,678,193	608,252
固定負債		
長期末払金	62,200	200
退職給付に係る負債	108,196	109,466
繰延税金負債	17,352	20,052
その他	250	250
固定負債合計	187,999	129,969
負債合計	4,866,192	738,221
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	2,441,592	2,811,397
自己株式	△738,320	△738,320
株主資本合計	2,548,392	2,918,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,917	46,126
為替換算調整勘定	△1,367	△30
その他の包括利益累計額合計	38,549	46,096
新株予約権	12,252	22,755
純資産合計	2,599,194	2,987,049
負債純資産合計	7,465,387	3,725,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	1,007,405	1,726,658
売上原価	897,272	1,178,411
売上総利益	110,133	548,247
販売費及び一般管理費	336,611	224,680
営業利益又は営業損失(△)	△226,478	323,566
営業外収益		
受取利息	29,754	5,943
受取配当金	824	1,756
為替差益	-	216,964
その他	2,858	2,618
営業外収益合計	33,437	227,283
営業外費用		
支払利息	1,836	1,002
為替差損	173,886	-
その他	930	-
営業外費用合計	176,653	1,002
経常利益又は経常損失(△)	△369,694	549,847
特別利益		
固定資産売却益	754	-
特別利益合計	754	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△368,939	549,847
法人税等	35	93,530
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△368,974	456,316
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△368,974	456,316

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△368,974	456,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,557	6,209
為替換算調整勘定	△2,567	1,337
その他の包括利益合計	△8,125	7,546
四半期包括利益	△377,099	463,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△377,099	463,863
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△368,939	549,847
減価償却費	7,425	4,919
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,072	1,270
賞与引当金の増減額(△は減少)	888	△7,082
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△46	△570
株式報酬費用	1,750	10,502
受取利息及び受取配当金	△30,579	△7,699
支払利息	1,836	1,002
為替差損益(△は益)	171,629	△217,385
有形固定資産売却損益(△は益)	△754	-
売上債権の増減額(△は増加)	△44,548	△140,682
たな卸資産の増減額(△は増加)	△148,789	55,845
未払金の増減額(△は減少)	△25,187	37,694
前受金の増減額(△は減少)	105,412	△52,884
長期未払金の増減額(△は減少)	-	△62,000
その他	△132,793	△73,259
小計	△458,624	99,518
利息及び配当金の受取額	34,555	6,821
利息の支払額	△1,794	△1,002
法人税等の支払額	△13,948	△14,309
法人税等の還付額	49,383	11,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	△390,429	102,803
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,707	△354
有形固定資産の売却による収入	754	-
無形固定資産の取得による支出	-	△192,974
差入保証金の差入による支出	△6,574	-
差入保証金の回収による収入	-	8,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,526	△184,942
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,600,000	△4,150,000
自己株式の取得による支出	△16	-
配当金の支払額	△84,404	△86,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,684,420	△4,236,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173,536	217,778
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,255,912	△4,100,971
現金及び現金同等物の期首残高	8,070,248	6,208,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,814,335	2,107,105

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年7月31日）および当第2四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年7月31日）

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。